

# 製造業、小売業必見！ Nutanix 上で SAP を実行して ビジネスに活かす 3 つの方法

バオー・ファン\*/Nutanix

Nutanix は、ネイティブ AHV ハイパーバイザー上で動作する Nutanix Enterprise Cloud OS が、SAP HANA の本番環境を実行する HCI（ハイパーコンバージド・インフラストラクチャー）として初めて認証されたことを発表した。

SAP は認証に際し、高いレベルのインフラ性能を要件とすることで、SAP HANA による最適なエクスペリエンスを保証している。Nutanix はすでに、HCI カテゴリにおいて、テスト環境、開発環境、非本番環境での要件を満たしていたが、今回、本番環境のワークロードでも要件を満たしたことになる。

これは CRM（顧客関係管理）、ERP（統合基幹業務システム）、SCM（サプライチェーン・マネジメント）などのミッションクリティカルな業務の動力として SAP を活用する製造業や小売業にとっては、特に関連性の深いニュースと言えるだろう。

ここでは Nutanix 上で SAP を実行し、ビジネスに活かす方法を 3 つ紹介する。

## エッジや IoT への取り組みが 生み出す大量データに備える

製造業や小売業の業界にとって、IoT デバイスやエッジロケーションから得られるデータは、より深いデータインテリジェンスや新たな収益源の可能性を示している。しかし、これにはコストがかかる上、IT 部門や各事業部門がかつてないほど多くのデータを収集・管理することになる。

従来の IT インフラで容易に扱うことができたデータ量をはるかに超えることは間違いない。設備機器には、メンテナンスや品質に関するデータをブロードキャストして、障害が発生する前にバックオフィスに警告する機能がある。

店舗のロケーション情報から、在庫状況をリアルタイムに追跡し、顧客に最新情報を提供している。またロケーション情報をベースのタグ付けされているため、サプライチェーンのオペレーションがスムーズになる。

もしデータが、複雑なネットワークソフトウェアに依

存することでアクセスが可能になるよう、サイロ化したストレージに供給されている場合、ビジネスを迅速に進めるためには、IT チームがデータセンターとエッジコンピューティング・インフラのさまざまな部分をつなぎ合わせて、ビジネス要件を満たす必要がある。

HCI は、コンピューティング、ストレージ、仮想化、およびネットワーク機能を統合スタックとして一元化することで、パフォーマンスを加速し、スケーラビリティを簡素化する。

SAP HANA のインメモリ・データベース機能と Nutanix Enterprise Cloud のハイパーコンバージド・アーキテクチャを組み合わせれば、IoT の取り組みによる大量データにも十分対応できるようになるため、プロビジョニングの制約を受けることなく、IT システムをビジネスの成長に合わせて簡単にスケールアップできるようになる。

## 他社よりも早くトレンドを予測・追跡

商取引のグローバル化は世界にチャンスをもたらすと同時に、IT 部門や各事業部門に大きな課題をもたらしている。

機器、店頭、配送センターなどからデータを収集して管理することはほんの始まりにすぎない。ビジネスリーダーがリアルタイムにビジネス上の意思決定を行えるよう、複数のチャンネルを通じてデータを提供することが成功の鍵となる。市場のトレンドが顕在化する前にパターンを特定できる組織が優位に立つのだ。

ハイパーコンバージドな Nutanix Enterprise Cloud OS 上で SAP HANA を実行し、データセンターからクラウドまで幅広く展開することで、グローバルデータを包括的に把握することができます。開発者は幅広いデータを活用することにより、今までアクセスすることが出来なかったより深いインサイトへとつながる情報に関連付けるアプリケーションを構築できるようになる。

また AHV を搭載したプラットフォーム上ですべてのデータを仮想化することで、データの整合性を損なうことなく、データセンターとクラウドの間でデータやアプリケーションをシームレスに移動させることが可能となる。

このようにデータの整合性を維持しながらワークロードの実行場所を選択・変更できるため、これまでにないほどアジャイルな IT を実現することができる。

## 単一のインターフェイスによる管理で、イノベーションの時間を確保

管理をシンプルにしたいからといって、データ運用全体を SAP HANA に移行する必要はない。

Nutanix Enterprise Cloud OS を使用すれば、従来の SAP インストールを含むすべてのエンタープライズアプリケーションを単一の管理プレーンで管理することが可能になる。

プロアクティブなモニタリングと、事前に予測するキャパシティプランニングを備えた非常に直感的なコンソールにより、IT 管理者はインフラに混乱が起こる前にニーズに対処することができる。

遠隔地や支店の管理にもデータセンターと同じ管理プレーンが使われているため、工場の生産システム、倉庫管理システム、および店舗運営のプラットフォームにも同様に高い信頼性が保証される。

Nutanix はインフラを見えなくすることで、IT チームの作業時間を軽減し、より良い顧客体験の設計、ビジネスプロセスの改善、新たな収益経路の発見のための時間を確保する。

## HCI 上で SAP HANA を仮想化

製造業や小売業が使用する利点を中心に述べたが、SAP HANA を Nutanix Enterprise Cloud OS 上で仮想化することは、エネルギー、ヘルスケア、金融サービス、公共セクターなど、他の業界にも同様に有効だ。

ハイパーコンバージドな Nutanix のスタックのお客様の環境における活用法について、個別の説明会を希望される場合は以下のような方法がある。

- sap@nutanix.com 宛にメッセージを送る
- 正規の Nutanix 代理店に連絡する

●御社のシステムインテグレーターから、ニュータニクスエキスパートにデモを依頼する

クラウドサービスに関して十分な専門知識をお持ちの方は、Nutanix のコンサルティングサービスまたは X-Powered サービスプロバイダにご連絡を。

認定済みの企業の方は、プランニングとアーキテクチャ、リスクフリーの移行、自動化、アジャイル開発/CI-CD 戦略などのトピックを詳細に網羅した、エンタープライズアプリケーションのプランニングワークショップを無料で受講することができる。

SAP HANA の本番環境での可用性 Lenovo や他の Nutanix のパートナー企業は、それぞれの Skylake ベースのハードウェアプラットフォームで、AHV を用いて Nutanix Enterprise Cloud OS 上で SAP HANA を実行するため、認証取得に向けて取り組んでいる。

SAP HANA 向けの本番環境ソリューションは、認証取得後、年末までの間にパートナー企業を通じて一般利用可能になる見通しだ。

(2020 年, NUTANIX Web blog)

記事構成：ニュータニクス・ニュース！編集部, Nutanix Japan

\* バオー・ファンは Nutanix の社員。

**NUTANIX**<sup>TM</sup>  
YOUR ENTERPRISE CLOUD

お問い合わせ：03-4588-0520

[info-jp@nutanix.com](mailto:info-jp@nutanix.com) | [www.nutanix.com/jp](http://www.nutanix.com/jp) | [@NutanixJapan](https://twitter.com/NutanixJapan)

東京都千代田区大手町 1-1-1 大手町パークビルディング 7F